

R7 年度オンライン介護個別相談(2025/9/1～9/18)アンケート

(参加者 6 名のうち回答者 6 名)

1. 介護個別相談の内容は参考になりましたか(下表に○を記入下さい)

とても参考になった	参考になった	あまり参考にならなかった	参考にならなかった
4	2	0	0

上記を選んだ理由を自由にお書きください

- 初めての介護生活が始まったタイミングでいろいろと話を聞けたため不安が随分解消された。
- 母や家族が希望する看護、定期的な往診を受けることができ、在宅と施設の両方で暮らすことができる「看護小規模多機能施設」(介護保険適用)の存在を知ることができました。
- 現状からの移行プロセスについても丁寧にアドバイスをいただくことができました。
- 知らなかったことを教えてもらえたから
- 他の人の体験談等を聞けたから
- 将来的な親の介護に向けて、どのような方法や制度があるのかを知らない段階で、色々ご教示いただければと思い受講しました。
しかし先生とお話できたことで、実際にはその手前に「親の老化や介護をどのように捉え、どう考えていけば良いのか」という自分自身の不安や焦りがあることに気づかされました。先生はご自身の考えを一方向的に教え諭されるのではなく、相談者それぞれに合わせて対話を重ね、必要に応じて情報を与えてくださっているのだと思います。そのおかげで、非常に心が軽くなり、前向きな気持ちになることができました。
- 現状、どうしていいかわからないことが多く、不安に感じていることを聞いていただけた。
- 話しているうちに、我が家が抱えている問題の根本的な解決は難しいとも感じた。
- 介護の専門家の方に、当方の介護状況についてじっくりとお話をお聞きいただいた。
- 介護の専門家の方から、当方の介護状況についての的確なご助言を賜った。

2. 今後も同様の介護個別相談を実施してほしいですか(下表に○を記入下さい)

実施を希望する	実施を希望しない
6	

3. 介護個別相談に対するご意見やジェンダー平等推進部門に対する要望等がありましたら、自由にお書きください

- (今回の私のように)突然介護の必要に迫られる場合もあるので、随時かせめて月毎に相談できる機会/窓口があると大変助けられる人が一定数いるように思う。今後の検討をお願いしたい。
- 神戸大学の取り組みとして、非常に重要な部門であると常々感じております。今後もますます活発に活動いただけることを心より期待しております。
すでに実施されていたら大変恐縮ですが、全学の教職員全員(役職者・非常勤を含む)に対し、ジェンダー平等や多様な性・ジェンダーに関すること、さらにはハラスメントに関することなどについて、必須で受講する研修を義務化する取り組みがあれば、非常に有意義ではないかと考えてお

ります。

その際には、オンラインで形だけ受講できるものではなく、理解の定着を求める実質的な内容とすることが肝要かと存じます。

こうした仕組みが整うことで、大学内部にとどまらず社会全体に対しても「多様性を尊重し合える環境づくり」に向けた大きなメッセージとなり、私自身の学びとなるだけでなく、現在の多様な社会に生きる多くの人々にとって安心して学び働ける場、そして「安心して学生になろうと思える大学」となるのではないかと考えております。

- 相談したいことが多岐にわたるため、例えば専門医や治療の専門知識のあるスタッフの方の意見ももらえたら嬉しい。
- 今後も介護個別相談などの支援を継続的にお願いいたします。